

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 石山地区公民館 025-250-2930

年度	平成29年度		
施設名	新潟市石山地区公民館	所管部・課	教育委員会中央公民館
施設の設置目的	市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的に、公民館を設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.5.30
歳入	1,134	正職員	3	修正日	
歳出	6,572	非常勤	2	評価日	H30.6.1

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	広報の充実	ホームページアクセス件数	8,924	9,236	10,625	11,000	25,388	毎年実績が上がっているため、過去2年間の平均値以上に目標値を設定した。		H28年度途中から、HPの更新作業を本格化した成果がでたものと思われる。	B:達成
2	市民	利用者数の達成	年間利用者数	28,342	37,096	48,570	40,000	43,926	過去3年間の平均値以上に目標値を設定した。	主催事業・各利用団体の活動・公民館利用連絡協議会事業(文化祭等)	目標は上回っているが、定期利用団体の微減などが影響し、昨年度実績は下回った。	B:達成
3	市民	稼働率	全体平均約60%以上	51	55	58	63	59	過去3年間の平均値以上に目標値を設定した。	主催事業・各利用団体の活動・公民館利用連絡協議会事業(文化祭等)	昨年度実績から微増したが、定期利用団体の減があったため、目標値には届かなかった。	C:未達成
4	市民	事業満足度	アンケートにより満足度80%以上	100	100	100	100	95	引き続きこの状態を維持する。	主催事業のアンケート	地域課題などを真正面から取り組んだ内容の講座もあり、難しく感じる人もいた。	C:未達成
5	市民	自主グループ化	自主グループ化年間1グループ以上	3	2	3	3	5	継続して学ぶことの意義を理解してもらえよう説明する。	ゆりかご学級・遊わ塾・アクティブシニア	継続した学習が可能なメニューの提供を通じて、うまくサークル化へと促すことができた。	B:達成
6	財務	受講者1人あたりのコスト削減額	受講者1人あたりの費用負担	293	328	357	350	373	過去3年間の実績に合わせた形で目標値を設定した。	石山あそび隊	料理づくりの魅力あるメニューを検討した結果、食材実費負担額が、当初の予定より高額になってしまった。	C:未達成
7	事業	他機関、他団体との連携	連携団体数	30	38	40	40	37	職員が地域に出かけ、よりいっそう地域の人とつながりを持ち情報を収集する努力をする。	管内小中学校・各コミ協・利用団体協議会・社協・育成協・野球連盟等との情報共有や事業	前年度事業の評価・見直しを受け、廃止となった他団体との連携事業があった。	C:未達成
8	人材	研修の実施	職員の年間研修受講回数合計	21	30	30	30	30	前年と同じ目標値を設定した。	県主催の研修・市主催の研修・公民館主催の研修・女性財団主催の研修ほか	職員人数、在職年数、業務の進捗状況などを見ながら、適正な回数の研修に参加することができた。	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>公民館は地域の人の「つどう・まなぶ・むすぶ」を実現させるための場だと考えます。そのために一人でも多くの方に関わってもらい、学びをまた地域に還元できるような事業、参加しやすくなるような事業を展開していく必要があります。また、結ぶという意味では「人とのつながり」が重要になってきます。積極的に地域に出かけ、地域の人と繋がり、結んでいくことが求められます。それらの実現に向け、職員の資質の向上を図るため研修の積極的な受講に努めます。また、広報活動にも力を入れていきます。地域のみならず、愛し、愛される公民館を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを本格稼働させたことにより、アクセス数を大幅に伸ばすことができた。ただし、アクセス数の増加が稼働率や利用者数にどの程度つながっているのかは検証が必要。 ・定期利用団体が減少していく中、新たに5つのサークルの立ち上げができた。今後も、「魅力ある学習テーマ」を提供し、地域の人たちの学習意欲向上に取り組んでいく。 ・地域のニーズや状況を把握したうえで、効果的に事業を展開していくため、地域団体等と積極的に連携を行った。今後は市役所内の他部署にも目を向け、協働の拡大を図りたい。